

政治の現状と日本の行方

時事通信社解説委員長
山田 恵資

- * 改元をしっかりと活用した安倍総理
- * 今回の天皇退位をどう考えるか
- * 公務の広がり懸念する右派勢力と共産党
- * 衆参ダブル選挙を巡るドタバタ
- * 否定しつつもダブル選対応とる公明党
- * 実はず争がない衆議院解散
- * 始まった日本維新の会取り込みの動き
- * ポスト安倍候補を点検する
- * 野党に問われる統治能力
- * 安倍総理に残された頼みの綱は拉致問題



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は毎年この時期にお呼びしている時事通信社の山田さんにお呼びいただきました。統一地方選が終わりまして、次は参議院選挙ですが、巷では衆参同日選挙が確定であるかのように言われております。一方で消費増税延期論が出たり入ったりしております。実際、安倍内閣の支持率は50%前後までいっておまして、われわれからすればどうしてこんなに高いのかと思うんですが、そういうさまざまな疑問もございまして、今日は政治の世界はどうなっているのか、本当のところをお聞きしたいと思っております。それでは山田さんよろしくお願いたします。（拍手）

改元をしっかりと活用した安倍総理

山田 こんにちは、ご紹介いただきました時事通信の山田恵資でございます。ここでお話しさせていただきますのは、今回が3回目になります。毎回非常に厳しい視線の中お話をさせていただきますので緊張しておりますけれども、よろしくお願いたします。

去年お伺いしましたときちょうど前立腺の手術をした後でございまして、その後たいへん順調でPSAはずっとゼロを続けております。幸い60歳ちょっと前で手術したのですけれども、今から思いますと手術ができる年齢であったことがよかったのかなと思っております。同じ病気で治療を受けている方もたくさんいらっしゃ